

訪問看護ステーション

連絡協議会だより

第16号

発行年月 2008年9月
 発行所 岡山県訪問看護ステーション
 連絡協議会
 〒703-8251 岡山市竹田155-7
 岡山訪問看護ステーション看護協会2階
 TEL086-901-1375・FAX086-901-1376
<http://okayama.houmonkango.net/>
 E-mail okayama@space.ocn.ne.jp
 発行責任者 若林敏子

岡山県訪問看護ステーション 連絡協議会副会長再任のご挨拶

岡山県医師会理事 道明 道弘

6月22日に行われた連絡協議会総会において副会長に再任されました。県医師会理事1期目と同様に、よろしくお願いいたします。岡山県住宅ケア推進における岡山県訪問看護推進協議会は岡山県看護協会が県より委託された事業ですが、僕自身が会長に推されて本年度が3年目の最後の年となります。在宅ホスピスケアの研修会やアドバイザーの派遣等の住宅ホスピスケア普及啓発に両協議会ともに取り組んでいくつもりですので、どうかよろしくお願いいたします。

また、訪問看護と介護保険は深い関係がありますが、この度、井戸岡山県医師会長の後任として岡山県介護保険関連団体協議会副会長兼幹事にもなりました。こちらの方でも、いろいろお世話になりますのでよろしくお願いいたします。特に、来年度には介護報酬改定があり、医療崩壊、介護難民を防ぐために、皆さん方を始め、医療関係者が一致団結して、厚労省や政府に強い要望を出していきましよう。

最近の介護施設では、従事者の男性が結婚されると女性ではなく男性の方が「寿退社」されるそうです。これは、笑い話ではなくて、施設の男性が結婚して嫁さんを養うにはあまりにも薄給過ぎるために起きた珍現象なのです。介護難民、介護疲れでの殺人や自殺等々、ひど過ぎますよね。世の中が本当におかしいです。

なお、地域ケアシステムの構築には皆さん方ももちろん多職種協働が欠かせないの言うまでもありません。どうぞ、今後ともよろしくお願いいたしますとともに、訪問看護ステーション連絡協議会が益々発展しますように祈念して、ご挨拶いたします。



平成20年度 後期研修会・管理者会議計画

月 日	テ ー マ	講 師	対 象	場 所
平成20年 10月11日(土) 連絡協議会研修会 半日公開研修	看護倫理と リスクマネジメント	山口県立大学看護栄養学部 教授 岩本テルヨ	訪問看護師	津山 総合館 福祉会
11月14日(金) ウィズフェスティバル	在宅で介護をして いる家族への支援	岡山県訪問看護ステーション看護協会 所長 菅崎仁美	一 般	きらめきプラザ ウィズセンター
12月13日(土) 連絡協議会研修会	感染対策について — 手指衛生 —	(株)サラヤ 営業統括本部 ヘルスクエア事業部 衛生インストラクター 栄養士 牟田口 静江	看 護 師	ゆうあいセンター
平成21年 1月24日(土) 連絡協議会 管理者合同会議	在宅医療を支える 継続看護	岡山大学大学院保健学研究科 教授 長江弘子 教授 谷垣静子	管 理 者 看 護 師 (病院)	岡 山 大 学 保 健 学 科 棟 301教室
2月14日(土) 連絡協議会研修会 倉敷半日	精神障害者の理解	精神保健福祉センター 主任 藤田大輔	訪問看護師	古久賀ホール

新設の ステーション紹介

「オリーブ訪問看護ステーション」 眞宮由起子

平成20年1月に岡山市岡北学区に開設したオリーブ訪問看護ステーションです。近くに岡山大学、半田山があり、緑に恵まれたのどかなところですよ。

私たちは、看護師16人PT5人の職員構成でスタートしました。地域に根ざした看護を提供し、重度の方でも安心して療養できる訪問看護ステーションを目指して行きたいと思っています。今後、

急増する高齢者が、住み慣れた自宅で生を全うするためのターミナルケアや、高齢者の世帯で医療処置が必要になったとき、訪問看護が効率的に提供されることは不可欠であります。利用者さまが求めるものは、どんなときも、やさしい心。ゆっくり地道に取り組んで行きたいと思っています。どうぞよろしく願います。



※都合により、変更がある場合がございますのでご容赦ください。
 ※多数のご参加お待ちしております。



ステーションからのリレーだより



「PEGを断った娘さん」

王慈園訪問看護ステーション 大森 七奈子

「母は口をなかなか開けてくれないので、食べさせるのに毎回戦います。」

Fさんの娘さんの言葉に、「そうだろうなあ、訪問の時も、食べるのに時間がすごく掛かるもんなあ。」と私は頷きました。この暑さで食事摂取量が減っており、主治医より、「そろそろPEGを考慮して」とコメントがありました。低栄養状態による、るい瘦があり嚥下障害による誤嚥性肺炎の危険を抱えているFさん、「食べれる時は口から食べて、食べる量が少ない時PEGより注入すると、栄養や水分の管理を今より十分できる。しかし誤嚥性肺炎を完璧に予防できるとは限らない。継続してケアが必要で、一番大切なのは、Fさんと家族の意思です。」と娘さんに伝えました。娘さんの答えは、「今はPEGは入れない。PEGを入れると、口から食べさせなくなる。薬をしてPEGに頼ってしまいます。そろそろPEGを入れないといけないなあと思いますが、一ヶ月でも二ヶ月でも、口から食べさせてあげたい。」とのことでした。私はその事を聞いて驚いたと同時に、頭が下がりました。日頃は仕事で限られた時間の昼休みも、お母さんに高カロリー食を飲ませながら、自分も昼食を摂っている娘さん。意思表示は顔でしかできないFさん。もし言葉が話せたら、何て言われているかなあと思います。

PEGについては、倫理的にも考え方がいろいろあり、決定するのは本人と家族です。その言葉を胸にFさんの訪問時、私達もバナナとスポーツドリンクを食事介助している今日、この頃です。

「結婚式」

訪問看護ステーションたんぽぽ 木村麻紀

訪問看護に従事するようになりもうすぐ8年、管理者になり3年目となります。病棟勤務時代とはまた違う経験を重ねている毎日です。そんな中で、印象的であった出来事について記してみたいと思います。

2年前、私はALSで奥様の介護を受けながら療養されているMさんの訪問を担当していました。呼吸器は装着しないと決められていましたが、発熱が続いたり、精神的に不安定な様子になったりされていたので、いつも気になっていました。状態があまりよくないことを感じられた娘さんがご自身の結婚式を繰り上げて挙げられることになり、私は当日外出のお手伝いをするようになりました。当日朝お宅に伺った時、Mさんはなんとも不安げなお顔をされていました。車に乗る前から涙、涙で、道中も文字盤で「えらい」「しんどい」と言われていたのに、教会に着くと訴えはピタリとなくなり、「花嫁の父」の表情になりました。1時間ほどの挙式でしたが、ほぼ最後まで参列され、花嫁姿の娘さんを見て、また涙、涙でした。挙式の10日後、Mさんはご自宅で最期を迎えられました。このような外出のお手伝いをさせていただいたのは初めてでしたが、私にとってもよい経験となり、私も幸せを分けていただいたように感じました。

訪問看護に従事するようになり、利用者様から「あなたはいい仕事を選んでね」と何度か言っていました。この言葉を励みに、これからも期待に応えられる訪問看護師でありたいと思っております。

マッチングプラザ2008に参加して

倉敷記念訪問看護ステーション 藤田真利子

平成18年～19年の2年間広報委員会の一員として活動させていた中で印象深い活動の一つがコンベックス会場で行われたマッチングプラザへの参加でした。

毎年5月に岡山県ケアサービス関係者と利用者マッチングプラザ実行委員会(略称:OCM実行委員会)が主催しケアサービス関係者が出展者となり来場する一般の方や医療・福祉関係者が様々な情報交換をする場として開催されるイベントです。

2日間の開催期間中は広報委員6人が交代で血圧測定を実施しながら来場した方々に訪問看護のパンフレットを配布するなどPRを行いました。初めて参加した時に一般の来場者の方から「訪問看護ステーション連絡協議会とはどんな事をするとところ?」と尋ねられ自分自身が緊張と戸惑いで説明が十分できなかった事を残念に思いました。と同時に知らない人に訪問看護を知ってもらう必要があると感じました。一般の方に訪問看護の存在や業務内容が知られつつある状況の中で、さらに訪問看護の活動が周知されるためには医療・福祉関係者の理解を深めることが大切でマッチングプラザのような多くの人が来場する場での訪問看護のPRは重要だと感じました。来年は是非、来場し多くの出展場所を体験して帰りたいと思います。皆さんも来場してみたいはいかがでしょうか。

第31回日本プライマリーケア学会2008 in 岡山に参加して

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会副会長 菅崎仁美

平成20年6月13日(金)～15日(日)岡山コンベンションセンター・岡山デジタルミュージアムで開催されました。

～いのち・健康支援から看取りまで～というテーマで、訪問看護においても関心の高い緩和ケアや終末期における医療・介護のあり方など身近なものが取り上げられていました。野の花診療所 院長徳永進先生の「かかりつけ医の症例バザール」では、様々な苦労の中に宝物が見つかるような症例の話で、在宅医療に関わるものにとって共感できるものがあり元気をいただきました。

今回、実行委員として企画から参画させていただき、カリキュラムを作成する中で、在宅医療をすすめるには、訪問看護をはじめ様々な職種との連携が必要とされていることをあらためて感じさせられました。岡山での学会は、医師以外の保健・医療・福祉に関わる方々が参加しやすいものを目指しました。演題も様々な分野からの発表があり、在宅医療にかかわる方の考え方や方向性が伝わってきました。県内や他県の取り組みなどの紹介もあり、地域ケアのあり方や訪問看護の課題を考える良い機会になりました。

日本プライマリーケア学会 岡山県支部でも毎年3月に学会を開催しています。少しでも多くの方々に参加していただきたいと思っております。

お知らせ (岡山県警察庁 交通規制課より)

『緊急時の電話による駐車許可制度』(平成20年8月1日運用開始) 24時間対応

緊急の訪問看護等、「緊急やむを得ない事情があるとき」には警察署を訪れることなく、電話など口頭で駐車許可を申請することができるようになりました。

- 受付窓口** 駐車場所を所轄する警察署
- 申請方法** 電話
- 申請内容**
 - 申請者の住所・氏名・連絡先・事業所名
 - 駐車場所・日時
 - 緊急訪問が必要な理由 (当協議会より配布した例示の言葉を) 用いて簡潔に
 - 車のNo.
- 許可方法** 警察署にて審査の後、電話で許可する旨通知される。その際、許可番号が通知される。
- 許可期間** 申請内容の駐車日・時間のみ
- 駐車方法 (提示内容)**
 - 『駐車許可』
 - 平成〇年〇月〇日 〇時～〇時
 - 〇〇(管轄の警察)警察署長
 - 許可No〇〇〇〇(通知された番号を記入)
- 注意事項**
 - ※駐車禁止区域となっている場所は、様々な理由により禁止となっていますので、その区域に駐車していることを認識し、良識をもって駐車してください。

☆駐停車禁止区域や、近隣の民家の前、対向車が通れないような場所、歩道上への駐車はしない。

「広報委員とともに」児島訪問看護サービスセンター 木崎礼子

私が、前任者の退職に引継ぎ広報委員に任命されましたのは約5年半前で、管理者になってすぐのことでした。訪問看護の経験はありましたが管理者の経験はなく右も左も分からない状況での就任になり、委員の皆様にもご迷惑をおかけしたかと思えます。その当時は委員会に参加するたびに他の管理者のはつらつとした姿や発言を見聞きし、帰りの電車ではいつも自分の臍甲斐なさに落ち込んで帰っていました。が、時間が解決してくれるものでそのうち、顔見知りになることで他の研修会でも気軽にお話が出来るようになりました。いつしか委員会に参加して皆さんの悩みや現状を聞かせていただくうちに、勉強になるだけでなく、『私だけが悩んでいるのではないんだ・・・』と共感してもらえる人がいるということで次へのステップへの活力になったものです。今の私は広報委員と共に少しは成長できたのではないかと思います。

数年間、訪問看護の広報活動を、看護展やマッチングプラザでおこなってきましたがなかなか浸透するには時間がかかるのが実感ですが、実施したことは成果としてあらわれてきているように思えます。これからは五年余り経験してきたことが生かせるように頑張り、違った立場から広報委員会に貢献できるよう陰ながらでもご協力させていただきたいと思えます。いろいろとご指導ありがとうございました。

会員専用ホームページへアクセスしませんか?

広報委員会では、以前からホームページを簡単に利用できないものかと検討してまいりました。会員間で簡単に使えるツールとして、情報交換がスムーズになり、情報収集など活用できるものを作りたいと思っています。パソコンに向かう時間もなかなか取れない状況ではあると思いますが、

連絡協議会会員専用のホームページを利用していただきたいと、会員の方には「ユーザー IDとパスワード」をお知らせしたいと思います。この機会に是非ご活用いただき、有意義な情報交換の場としていきましょう。

(H20年度の連絡協議会総会要綱P37～をご参照下さい。) 広報委員会